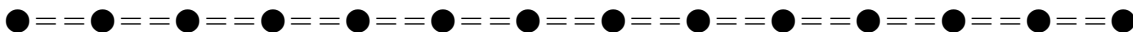


B i o T e c h T O K A I —メールマガジン 第140号—

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会



\*\*\*\* 《もくじ》 \*\*\*\*

- 1. 平成28年度「知」の集積による産学連携推進事業のうち、知的財産の技術  
● 移転加速化事業及び地域産学連携支援事業
- ☆NPO法人東海地域生物系先端技術研究会 平成28年度第2回セミナー
- ☆NPO法人東海地域生物系先端技術研究会 平成28年度第3回セミナー
- ☆アグリビジネス創出フェア2016 in 東海
- 2. 東海地域で開催されるセミナー・シンポ・会議等
- ☆中部異業種間リサイクルネットワーク協議会 8月研究会
- ☆三重大学大学院生物資源学研究所「産学官コミュニティシンポ2016」
- ☆一般社団法人 食品品質プロフェッショナルズ主催セミナー
- ☆平成28年度野菜花き課題別研究会
- 「ウリ科野菜生産を取り巻く現状と今後の課題」
- 3. 地域外でのセミナー・シンポ・会議等
- ☆アグリビジネス創出フェア2016(東京ビッグサイト) (農林水産省)
- ☆農林水産省等のイベント情報のURL
- 4. 競争的研究資金について
- ☆平成28年度官民連携新技術研究開発事業 (農林水産省)
- ☆革新的技術開発・緊急展開事業(うち地域戦略プロジェクト)(第2回公募)
- (農研機構・生研支援センター)
- ☆平成28年度 戦略的創造研究推進事業 先端的低炭素化技術開発(ALCA)
- (JST)
- ☆科学技術イノベーション政策のための科学研究開発プログラム (JST)
- ☆研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP) ステージ3:NexTEP-A タイプ
- (平成28年度・第2回) (JST)
- ☆平成28年度研究開発型ベンチャー支援事業
- シード期の研究開発型ベンチャーに対する事業化支援(第2回公募) (NEDO)
- ☆ICTイノベーション創出チャレンジプログラム (総務省)
- ☆民間の競争的研究資金を36件掲載
- 5. 新技術情報
- ☆農林水産・食品分野の新技術の紹介(3件)

\*\*\*\*

◆1◆ 平成28年度「知」の集積による産学連携推進事業のうち、知的財産の技術

移転加速化事業及び地域産学連携支援事業

☆NPO法人東海地域生物系先端技術研究会 平成28年度第2回セミナー

農林水産・食品産業分野の先進的研究・利用事例、研究開発を取りまく情勢等について理解を深める。企業・団体、大学、試験研究機関等の産学官の参加者が情報交流し、東海地域における研究開発とその実用化促進に資する。

【開催日時】平成28年11月1日（火）13：30～17：00

【開催場所】ウイंकあいち（愛知県産業労働センター）10階会議室（1006・1007）  
名古屋市中村区名駅4丁目4-38 （Tel：052-571-6131）

【アクセス】JR名古屋駅桜通口から  
ミッドランドスクエア方面 徒歩5分  
ユニモール地下街 5番出口 徒歩2分

【演題と講師】

第1会場（1006）

○林産部会 13：30～14：30

「セルロース・ナノファイバーの先端的材料利用」

岐阜大学応用生物科学部准教授 寺本好邦氏

○水産部会 13：30～14：30

「アサリの天然採苗および垂下養殖技術の開発」

国立研究開発法人 水産研究・教育機構 増養殖研究所

養殖システム研究センター研究員 長谷川夏樹氏

第2会場（1007）

○食品部会 14：30～15：30

「宝は足元に、農産物・食品ブランドはこうやって作ってちょう」

木戸弁理士事務所弁理士 木戸基文氏

○畜産部会 14：30～15：30

「空気清浄（脱臭・除菌）機能を有する光触媒装置の開発と実用化」

地方独立行政法人 岩手県工業技術センター上席専門研究員 桑嶋孝幸氏

○作物部会 15：40～16：50

「世界の飢餓を救え！～WISHプロジェクトと最近の研究～」

名古屋大学生物機能開発利用研究センター教授 芦苺基行氏

【開催要領】[http://www.biotech-tokai.jp/acv/pdf/H28dai2kaisemi\\_kaisaiyouryou.pdf](http://www.biotech-tokai.jp/acv/pdf/H28dai2kaisemi_kaisaiyouryou.pdf)

【参加費】 無料

【参集範囲】NPO法人東海地域生物系先端技術研究会会員、農林水産・食品産業関連企業、農業団体、食品関係団体、大学・高校等教育機関、国立研究開発法人、独立行政法人、公的試験研究機関、行政機関、その他

【主催】特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 / 農林水産省

【後援】名古屋大学大学院生命農学研究科、農研機構 生物系特定産業技術研究支援センター、農研機構 中央農業研究センター、(公社)農林水産・食品産業技術振興協会

【技術相談会】15:50～16:50 (第1会場 1006)

相談対応：農林水産省産学連携支援コーディネーター

【情報交流会】17:00～18:30 (第2会場 1007) 会費2,500円

【参加申込み】上記の開催要領のURLに添付した参加申込書を印刷し、ご記入の上、下記のFAX、あるいはメール宛て先にご送付ください。

Tel&Fax 052-789-4586 E-Mail bio-npo2@y4.dion.ne.jp

☆ NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会 平成28年度第3回セミナー

「農産物・食品の輸出促進のための諸対策」

生物系先端技術に関する研究開発成果等の理解を深めるため、最新の先進的研究・利用事例、研究開発を取りまく情勢等についてセミナーを開催する。本セミナーのテーマは、「農産物・食品の輸出促進のための諸対策」とし、企業・団体、大学、試験研究機関等の産学官の参加者が情報交流することにより、東海地域における農林水産・食品産業分野の研究開発とその実用化、輸出促進に資する。

【開催日時】平成28年12月13日(火) 13:30～17:00

【開催場所】ウインクあいち(愛知県産業労働センター) 12階 1202会議室  
名古屋市中村区名駅4丁目4-38 Tel:052-571-6131

【演題・講師】

1) 「花き類輸出の現状と課題」

愛知県豊明花き流通協同組合 代表理事 永田晶彦氏

2) 「最新のCAコンテナ輸送による鮮度保持技術と青果物輸出の取組み事例」

株式会社MTI 取締役・営業グループ長 田村健次氏

～休憩～

3) 「諸外国における残留農薬基準値と輸出用茶の生産対策」

農研機構 果樹茶業研究部門 茶病虫害ユニット長 佐藤安志氏

【開催要領】[http://www.biotech-tokai.jp/acv/pdf/H28dai3kaisemi\\_kaisaiyouryou.pdf](http://www.biotech-tokai.jp/acv/pdf/H28dai3kaisemi_kaisaiyouryou.pdf)

【主催】NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会、農林水産省

【後援】農研機構 生物系特定産業技術研究支援センター、農研機構 中央農業研究センター、(公社)農林水産・食品産業技術振興協会

【参集範囲】NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会会員、農林水産・食品産業関連企業、農業団体、食品関係団体、大学・高校等教育機関、国立研究開発法人、独立行政法人、公的試験研究機関、行政機関、その他

【併催】技術相談(1202会議室):16:40～17:00 予約制

相談対応：農林水産省産学連携支援コーディネーター

【情報交流会】1206会議室:17:00～18:30 参加費2,500円

【参加申込み】上記の開催要領のURLに添付した参加申込書を印刷し、ご記入の上、下記のFAX、あるいはメール宛て先にご送付ください。

Tel&Fax 052-789-4586 E-Mail bio-npo2@y4.dion.ne.jp

☆「アグリビジネス創出フェア2016 in 東海」

—農林水産・食品産業分野における産学官連携によるマッチング促進—

「アグリビジネス創出フェア 2016 in 東海」は、農林水産省の実施する「知」の集積による産学連携推進事業のうち知的財産の技術移転加速化事業及び産学連携支援事業の一環として実施します。産学官・農商工の連携をより一層効果的に推進するため、地域の活性化につながる研究開発から製品開発・事業化や技術移転、市場開拓など新たなビジネス創出についての情報発信・技術交流を行います。更に事業化を進め、特許等の技術移転、ベンチャー企業の創出を支援する機会とします。本年度は名古屋大学協力会と共催し、講演会も開催します。

【開催日時】平成28年11月28日（月）10：00～17：00

11月29日（火）10：00～16：00

【開催場所】名古屋大学 ES総合館 ESホールおよび会議室

名古屋市千種区不老町名古屋大学

アクセス：地下鉄名城線 名古屋大学 2番出口より徒歩2分

【内容】

(1) 開会式

(2) 基調講演 「知の拠点あいち 食の安心・安全技術開発プロジェクトの成果」

豊橋技術科学大学大学院工学研究科 教授 田中三郎氏

(3) 成果発表 研究・教育機関の研究成果、企業の研究成果

(4) 名古屋大学協力会の講演会

(5) 「知」の集積事業説明会

(6) パネル等の展示（大学・各研究機関・高校・企業等研究成果、6次産業化新製品等）

(7) 相談コーナー開設（農林水産省産学連携支援コーディネーター）

【主催】特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会、農林水産省

【共催】名古屋大学協力会

【後援】名古屋大学大学院生命農学研究科、（公社）農林水産・食品産業技術振興協会、農研機構 中央農業研究センター、農研機構 生物系特定産業技術研究支援センター

【出展予定】研究機関・企業・団体等：60ブース

【出展募集要領】[http://www.biotech-tokai.jp/acv/pdf/H28agrifair\\_shuttennyouryou\\_tokai.pdf](http://www.biotech-tokai.jp/acv/pdf/H28agrifair_shuttennyouryou_tokai.pdf)

【出展申し込み】[http://www.biotech-tokai.jp/acv/pdf/H28agrifair\\_shutten\\_moushikomi-1.pdf](http://www.biotech-tokai.jp/acv/pdf/H28agrifair_shutten_moushikomi-1.pdf)

[http://www.biotech-tokai.jp/acv/pdf/H28agrifair\\_shutten\\_moushikomi-2.pdf](http://www.biotech-tokai.jp/acv/pdf/H28agrifair_shutten_moushikomi-2.pdf)

【参集範囲】大学、高等学校等教育機関、国立研究開発法人、独立行政法人、公的試験

研機関、農林水産・食品関係企業、農業団体、食品関係団体、県等行政機関。  
また、本フェアの展示・発表等にご関心のある方はどなたでもご参加ください。  
異分野のご専門の皆様も歓迎いたします。

【情報交流会】1日目の17時から、名古屋大学構内にある「花の木」にて開催致します。  
会費 4000 円（事前申し込み）

【問合せ先】特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 事務局（大石、道村）  
TEL & FAX : 052-789-4586  
E-mail : bio-npo2@y4.dion.ne.jp

◆ 2 ◆ 東海地域で開催されるセミナー・シンポ・会議等

☆中部異業種間リサイクルネットワーク協議会 8月研究会

【開催日時】平成28年8月25日（木） 14:00～17:00

【開催場所】名古屋市市民活動推進センター 研修室  
（名古屋市中区栄三丁目18番1号）

ナディアパーク・国際デザインセンタービル6階（電話：052-228-8039）

【講演】

（14:00～15:30）

「私の目指す 農業」 有限会社サンフレッシュ海津代表 高木健一氏

（15:30～17:00）

「優良企業への道」 セブン銀行取締役 大橋周治氏

【会費】 会員 無料 会員以外 1,000円

【交流会】講師を囲んでの交流会を予定しています。（自由参加）  
会費当日 3,000円

【出欠連絡】下記宛てにメールでご連絡ください。

E-mail : gt-keisoku @ re.commufa.jp 川崎 修様宛て

中部異業種間リサイクルネットワーク事務局行き

記載例： 7月27日（水）の研究会例会

研究会への出欠、交流会への出欠

所属： 氏名：

【緊急連絡先】090-7025-0050

.....

☆三重大学大学院生物資源学研究科「産学官コミュニティシンポ2016」

本シンポジウムでは、三重大学大学院生物資源学研究科に所属する大学教員・大学院生の日頃の農林水産・食品・バイオ・環境分野における研究成果が、シンポジウム、ポスターセッション、ポスターブースの3つの形式で紹介されます。それぞれの分野で「先端技術」から「地域との取り組み」など、多種多様な研究が紹介され、産業界との情報交換を目的として開催されます。参加者と教員との間での情報交換により、さまざまなシーズとニ

ーズが理解されることによって、今後、大学と地域のコミュニティづくりに向けた新しい展開が期待されます。

【開催日時】平成28年9月2日（金）13：00～（受付 12：30～）

【開催場所】三重大学生物資源学部（2階 大講義室）、環境情報科学館（1階）

【開催概要】<http://www.mie-u.ac.jp/topics/events/2016/08/2016-2.html>

【主催】三重大学大学院生物資源学研究科 協力 株式会社三重ティーエルオー

【プログラム】

研究科長挨拶（改組・サテライト構想など）

13：15～

シンポジウム

冒頭説明「グリーンイノベーションの全体像」

(1) 「ドライ解析＋ウェット解析＝コーディネート育種

～いい野菜品種を作り出すための新戦略～」 諏訪部圭太 准教授

(2) 「開発途上国でグリーンイノベーションは起こるのか？

～タンザニアにおける水稻栽培の事例から考える～」 関谷 信人 准教授

(3) 「木質バイオマス利用におけるイノベーションとは」 野中 寛 准教授

パネルディスカッション

ディスカッションテーマ『研究科が目指す地域貢献について』

冒頭説明「大学の地域貢献について紹介」

パネリスト（学外）株式会社浅井農園 代表取締役 浅井 雄一郎 氏

三重県漁業協同組合連合会 企画開発部長 小野里 伸 氏

野地木材工業株式会社 専務取締役 野地 伸卓 氏

（教員）資源経済システム学研究分野 松井 隆宏 准教授

産学連携コーディネーター 前川 行幸 名誉教授

16：10～

学生・企業団体による研究紹介 ポスターブース展示

場所：環境情報科学館1F

（専門の教員・学生が来場者へわかりやすく研究内容を紹介）

17：50～

懇親会 生協第1食堂

【参加申込】参加費無料。参加申込と締切 上記「開催概要」のリンク先から「参加申込書」を取り出し、出欠をお知らせ下さい。締切 8月25日（木）

担当 生物資源学研究科チーム 総務担当（羽津本）

E-mail [renkei@bio.mie-u.ac.jp](mailto:renkei@bio.mie-u.ac.jp) Fax 059-231-9634

周辺に駐車スペースがありませんので、当日は公共交通機関をご利用下さい。

☆一般社団法人 食品品質プロフェッショナルズ主催セミナー

～飲食（RTE向け）HACCPセミナー@名古屋～

飲食（RTE）の提供を含む事業形態である、飲食店、スーパーのバックヤードでの調理、ケータリング、移動店舗、弁当・惣菜業などのすべてを対象といたします。

【開催日時】平成28年10月1日（土）13：15～17：00

参加者受付13：00～13：15

【開催場所】ウインクあいち（愛知県産業労働センター） 1105号室

アクセス：<http://www.winc-aichi.jp/access/>

【開催概要】<http://qpfs.jp/194>

【参加費】3000円

【内容】

13:15-14:00 飲食 HACCP の国際的な潮流

食品品質プロフェッショナルズ 広田鉄磨 氏

14:00-14:45 これからの HACCP ; もうかる HACCP を実践しよう、移動販売への応用

食品品質プロフェッショナルズ 高瀬波佐人 氏

15:00-15:45 消費者からみた飲食 HACCP

公益社団法人 日本消費生活アドバイザー

コンサルタント・相談員協会 戸部依子 氏

15:45-16:30 飲食における一般衛生管理

イカリ消毒株式会社 脇 洋平 氏

16:30-17:00 飲食 HACCP における問題点克服

広田鉄磨 氏

（プログラムは講師の都合等により変更をすることがあります）

【申込み】参加ご希望の方は、9月27日（火）17時までに下記宛てにお申込み下さい。

事務局 水野 [t-mizuno@qpfs.jp](mailto:t-mizuno@qpfs.jp) 宛に「名古屋開催 飲食（RTE）向け HACCP セミナー参加希望」として申込みをお願いします。

申込み時には、(1)氏名 (2)所属 (3)当日連絡可能な携帯電話番号

(4)メールアドレス (5)懇親会参加希望の有無(会費 5000 円を予定)をご記入ください。満席になり次第受付を締め切りますのでお早めにお申し込みください。

.....

☆平成28年度野菜花き課題別研究会「ウリ科野菜生産を取り巻く現状と今後の課題」

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構

野菜花き研究部門

一般社団法人日本種苗協会

【開催日時】平成28年10月25日（火）12：30～17：40

26日（水）9：00～15：30

【開催場所】アスト津（〒514-0009 三重県津市羽所町700）

【開催案内（参加申込書を含む）】<http://www.naro.affrc.go.jp/event/list/2016/07/064077.html>

【内容】

1日目（10月25日）

1. ウリ科野菜品種紹介

2. 全体会議

○加工・業務用ウリ科野菜の現状と課題

農林水産省生産局農産部園芸作物課 宇井伸一 氏

○ウリ科野菜の流通と消費の課題 東京青果(株)

野原秀司 氏

○ウリ科苗生産の現状 ベルグアース(株)

山口一彦 氏

○環境制御システムによるキュウリ生産技術の現状と展望

農研機構果樹茶業研究部門 東出忠桐 氏

○大規模農業生産者(法人)の事例 群馬県中部農業事務所普及指導課

川島正俊 氏

○ウリ科野菜のおいしさ・機能性について 農研機構果樹茶業研究部門

堀江秀樹 氏

○総合討論

2日目(10月26日)

全体会議

○果実汚斑細菌病の現状及び対策について 農研機構本部企画調整部 白川 隆 氏

○キュウリ産地における病害虫発生状況・気候変動の影響と対策について

埼玉県農業技術研究センター 塚澤和憲 氏

○ウリ類退緑黄化病の発生状況と対策

熊本県農業技術課農業革新支援センター 杉浦直幸 氏

○カボチャ産地における病害虫発生状況・気候変動の影響と対策について

北海道立総合研究機構上川農業試験場 新村昭憲 氏

○スイカ育種の現状と課題 (株)萩原農場生産研究所

嶋本育泰 氏

○カボチャ育種の現状と展望 農研機構北海道農業研究センター

杉山慶太 氏

○黄化えそ病・退緑黄化病抵抗性育種研究の現状と展望

農研機構野菜花き研究部門 杉山充啓 氏

○ウリ科野菜における選抜マーカー開発の現状と展望

農研機構野菜花き研究部門 川頭洋一 氏

○総合討論

【参集範囲】 国立研究開発法人および公立試験研究機関野菜研究担者、日本種苗協会関係者、国および地方自治体の野菜行政・普及担当者、その他野菜花き研究部門長が認めた者

【参加申込】 9月26日までに下記申込先に E-mail 又はファックスにてお送りください。

E-mail: vf-koryu@affrc.go.jp Fax: 029-838-6673

農研機構野菜花き研究部門 企画管理部 企画連携室 交流チーム

【問い合わせ先】 (国研) 農研機構・野菜花き研究部門 野菜育種・ゲノム研究領域

上級研究員 川頭洋一

電話 : 050-3533-4610 ファックス : 059-268-1339

E-mail : ykawazu@affrc.go.jp

---

◆ 3 ◆ 地域外でのセミナー・シンポ・会議等



☆アグリビジネス創出フェア 2016（東京ビッグサイト）

「アグリビジネス創出フェア 2016」は、全国の産学の機関が有する農林水産・食品分野などの最新の研究成果を展示やプレゼンテーションなどで紹介し、研究機関間や、研究機関と事業者との連携を促す場として開催する技術交流展示会です。

【開催期間】平成28年12月14日（水）～12月16日（金）

3日間とも午前10時開場、午後5時閉場

【会場】東京ビッグサイト 西4ホール（東京都江東区有明3-11-1）

【アグリビジネス創出フェア 2016 ホームページ】<http://agribiz-fair.jp/teaser/>

【入場料】無料

【主催】農林水産省

【出展者募集】出展料無料（但し、小間装飾に必要な経費（出展者名ボード作成費、電気使用量等の実費は負担）

出展のご案内 <http://agribiz-fair.jp/teaser/pdf/guidelines.pdf>

【プレゼンテーション企画への参加】出展申込みの際にご記入下さい。

.....

○農林水産省農林水産技術会議事務局では、農林水産関係の国立研究開発法人等の開催するイベントを紹介しています。イベントカレンダーのURLは下記の通りです。

<http://sto.affrc.go.jp/event/calender>

○国立研究開発法人農研機構が開催するイベント情報のURLは下記の通りです。

<http://www.naro.affrc.go.jp/event/index.html>

○公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会が開催するイベント情報のURLは下記の通りです。

<http://www.jataff.jp/>

◆4◆平成28年度競争的研究資金等について

☆平成28年度官民連携新技術研究開発事業

農林水産省（農村振興局）

公募概要：[http://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/nousin/160627\\_1.html](http://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/nousin/160627_1.html)

分野等：

1. 農地の大区画化・汎用化に資する技術
2. 農業水利施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を図るための適切な保全管理に資する技術
3. 土地改良施設の耐震強化等に資する技術
4. 小水力発電等の農業水利施設等を活用した再生可能エネルギーの導入促進に資する技術
5. 農業収益力向上に資する先進的な基盤整備に係る技術

公募期間：平成28年6月27日～8月12日

.....  
☆革新的技術開発・緊急展開事業（うち地域戦略プロジェクト）（第2回公募）

農業・食品産業技術総合研究機構生物系特定産業技術研究支援センター

公募概要：<http://www.naro.affrc.go.jp/brain/h27kakushin/chiiki/koubo/02/index.html>

分野等：生産性向上や差別化など、競争力強化に向けた地域戦略を実現するため、産学官、農林漁業者等が総力を結集して、先進的な技術を組み合わせた革新的な技術体系を確立する実証研究を行う。

公募期間：平成28年7月12日～8月19日

.....  
☆平成28年度 戦略的創造研究推進事業 先端的低炭素化技術開発（ALCA）」（JST）

公募概要：<http://www.jst.go.jp/alca/koubo.html>

分野等：

1. 特別重点技術領域「ホワイトバイオテクノロジーによる次世代化成品創出」
2. 革新技術領域
3. 低炭素社会実現に向けた新発想型

公募期間：平成28年7月11日～8月22日

.....  
☆科学技術イノベーション政策のための科学研究開発プログラム（JST）

公募概要：<http://www.ristex.jp/examin/proposal.html>

分野等：客観的根拠に基づく科学技術イノベーション政策の形成に寄与するため、重点課題に基づき、新たな指標、手法等の開発や制度設計のための研究開発を公募により推進する。

公募期間：平成28年7月8日～8月25日

.....  
☆研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP） ステージ3：NexTEP-A タイプ（平成28年度・第二回）（JST）

公募概要：<http://www.jst.go.jp/a-step/koubo/h28nextep-a-1.html>

分野等：企業ニーズを踏まえた、企業による大学等の研究成果に基づく研究シーズの実用化開発を支援する。

公募期間：平成28年7月29日～11月30日

.....  
☆平成28年度研究開発型ベンチャー支援事業/シード期の研究開発型ベンチャーに対する事業化支援（第2回公募）（NEDO）

公募概要：[http://www.nedo.go.jp/koubo/CA2\\_100122.html](http://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100122.html)

分野等：シード期の研究開発型ベンチャーが必要とする研究開発および事業化に必要な資金、並びに活動を、ベンチャーキャピタルおよびシードアクセラレータ等と NEDO が協調して支援する。

公募期間：平成 28 年 7 月 1 日～8 月 26 日

.....  
☆ ICT イノベーション創出チャレンジプログラム (I-Challenge!) (総務省)

公募概要：[http://www.soumu.go.jp/menu\\_news/s-news/01tsushin03\\_02000167.html](http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin03_02000167.html)

分野等：情報通信審議会最終答申において、「2030年に求められるサービス像」を実現するために必要となる「国が取り組むべき技術開発分野と具体的プロジェクト」として、次の7つの具体的プロジェクトが例示されている。

- (1)いつでもどこでも快適ネットワーク技術
- (2)G空間高度利活用基盤技術 (Tokyo 3D Mapping)
- (3)以心伝心ICTサービス基盤
- (4)フレンドリーICTサービス技術
- (5)社会インフラ維持管理サービス技術
- (6)レジリエント向上ICTサービス技術
- (7)車の自動走行支援基盤技術

本事業の公募対象となるのは、上記7つのプロジェクトをはじめ、幅広くICTそのものの技術や、農業、医療、交通、教育などの異分野とICTとの融合をはかるなどにより、社会へ大きなインパクトをもたらす可能性を持つ、革新的な技術やアイデアを活用した新事業の創出を目指し、POC (Proof of Concept : 概念検証) に取り組む技術開発課題。

公募期間：平成 28 年 4 月 21 日～ (28 年度中はいつでも応募可能)

.....  
民間等研究資金

☆公益財団法人旭硝子財団：「自然科学系『研究奨励』」

公募概要：<http://www.af-info.or.jp/subsidy/about.html>

分野等：

- 第 1 分野：化学・生命科学系の研究で、物質・材料、生命・生物に関わる研究、およびこれらに関係の深い研究
- 第 2 分野：物理・情報系の研究で、材料・デバイス・システム、情報・制御ならびに設計・生産の基礎に関わる研究、およびこれらに関係の深い研究
- 第 3 分野：建築・都市工学系の研究で、人間生活の歴史と現状、将来を視野に置いた建築・都市空間に関わる研究

公募期間：平成 28 年 7 月 1 日～8 月 12 日

.....  
☆公益財団法人旭硝子財団：「環境フィールド研究 近藤記念グラント」

公募概要：<http://www.af-info.or.jp/subsidy/about.html>

分野等：絶滅危惧種の保護や外来種対策を含む生物多様性・生態系の保全・再生や持続的利用などに関する、基礎科学から応用化学までを含めた研究分野に関わる研究、およびこれらに関係の深い研究

公募期間：平成28年7月1日～8月12日

.....  
☆公益財団法人発酵研究所：「平成29年度（2017年度）一般研究助成」

公募概要：[http://www.ifo.or.jp/research/re\\_02.html](http://www.ifo.or.jp/research/re_02.html)

分野等：微生物（細菌、アーキア、菌類、微細藻類）の研究を対象とする。独創的で夢のあるチャレンジングな研究を期待している。

1. 微生物の分類に関する研究（分離、分類、保存、生態、進化など）
2. 微生物の応用に関する研究（発酵、生理・生化学、生理活性物質、プロバイオティクスなど）
3. 微生物の環境に関する研究（環境浄化、バイオマス変換、バイオエネルギー、バイオプラスチックなど）

公募期間：平成28年7月1日～8月22日

.....  
☆公益財団法人発酵研究所：「平成29年度（2017年度）大型研究助成」

公募概要：[http://www.ifo.or.jp/research/re\\_03.html](http://www.ifo.or.jp/research/re_03.html)

分野等：微生物（細菌、アーキア、菌類、微細藻類）の研究を対象とする。大きな構想で目的が明確な独創的でチャレンジングな研究を期待している。

1. 微生物の分類に関する研究（分離、分類、保存、生態、進化など）
2. 微生物の応用に関する研究（発酵、生理・生化学、生理活性物質、プロバイオティクスなど）
3. 微生物の環境に関する研究（環境浄化、バイオマス変換、バイオエネルギー、バイオプラスチックなど）

公募期間：平成28年7月1日～8月22日

.....  
☆公益財団法人発酵研究所：「平成29年度（2017年度）若手研究者助成」

公募概要：[http://www.ifo.or.jp/research/re\\_04.html](http://www.ifo.or.jp/research/re_04.html)

分野等：微生物（細菌、アーキア、菌類、微細藻類）の分類に関する研究（分離、分類、保存、生態、進化など）

公募期間：平成28年7月1日～8月22日

.....  
☆公益財団法人中部電気利用基礎研究振興財団：「平成28年度助成」

応募要領：<http://www006.upp.so-net.ne.jp/refec/youryou28.pdf>

分野等：電気、電子、情報、通信、応用物理、土木、建築、機械、応用化学、メカトロニクス、新素材、エネルギー、環境、バイオ、複雑系科学、農水産、家政、保健衛生、技術史等の他、電気の効果的な利用の拡大に関連する基礎研究

公募締切日：平成28年8月24日

.....  
☆公益財団法人関西エネルギー・リサイクル科学研究振興財団：「平成28年度研究助成」

公募概要：<http://www.krf.or.jp/research>

分野等：エネルギー・リサイクル分野、総合防災科学分野

公募期間：平成28年1月5日～8月31日  
.....

☆公益財団法人ホクト生物科学振興財団：「平成28年度助成先公募」

公募概要：<https://www.hokto-kinoko.co.jp/etc/bio.php>

分野等：バイオテクノロジーを主体とする調査・研究・技術開発等で新規な内容を擁し、将来にわたってバイオテクノロジー等生物科学の研究開発に一定の貢献をするものと認められるもの。

公募締切日：平成28年8月31日  
.....

☆一般財団法人油脂工業会館：「平成29年度研究助成」

公募概要：<http://www.yushikaikan.or.jp/system.html>

分野等：

1. コロイド・界面科学及び石鹼・界面活性剤工業に関する技術の分野
  2. 油脂・脂質に関する科学及び油脂加工技術の分野
  3. 健康・美・清潔と生活の科学に関する研究・技術の分野
- \*上記の三分野とするが周辺の分野も包含する。

公募期間：平成28年6月1日～8月31日  
.....

☆公益財団法人矢崎科学技術振興記念財団：「2016（平成28）年度研究助成」

公募概要：[http://www.yazaki-found.jp/applications/research\\_grants.html](http://www.yazaki-found.jp/applications/research_grants.html)

分野等：エネルギー、新材料、情報

公募期間：平成28年6月1日～8月31日  
.....

☆日本石鹼洗剤工業会：「平成29年度グリセリン新規用途開発研究助成」

募集要項：[http://jsda.org/w/01\\_katud/glycerin.html](http://jsda.org/w/01_katud/glycerin.html)

分野等：

1. グリセリンの新規用途開発研究（新規化学物質、新規応用研究）
2. グリセリンを出発原料とした有用化学製品の開発研究
3. その他需要拡大につながる研究

公募期間：平成28年6月1日～8月31日  
.....

☆公益財団法人ヤクルト・バイオサイエンス研究財団：「平成28年度研究助成（特別助成）」

公募概要：<http://yakult-bioscience.or.jp/project.html>

分野等：腸内フローラに関連する研究

公募期間：平成28年7月1日～8月31日  
.....

☆公益財団法人水谷糖質科学振興財団：「第24回糖質科学研究助成(平成29年度助成)」

応募要項：<http://www.mizutanifdn.or.jp/ja/grant/apply.html>

分野等：糖質科学の基礎および応用研究

公募期間：平成28年7月1日～9月1日

.....

☆公益財団法人トヨタ財団：「2016年度研究助成プログラム」

公募概要：<http://www.toyotafound.or.jp/program/research.html>

分野等：「社会の新たな価値の創出」に結び付くことが期待される共同研究、または個人研究のプロジェクトを対象に助成を行う。

公募期間：平成28年5月16日～9月2日

.....

☆公益財団法人総合健康推進財団：「平成28年度第33回一般研究奨励助成」

公募概要：<http://s-kenko.org/pdf1.php>

分野等：

1. 栄養と健康、2. 老化と健康、3. 保健対策と健康、4. 衣食住と健康、5. 代替医療と健康、6. 生活環境と健康、7. 福祉と健康、8. 産業衛生と健康

公募期間：平成28年7月1日～9月15日

.....

☆公益財団法人ノバルティス科学振興財団：

「平成28年度(2016年度)第30回ノバルティス研究奨励金」

公募概要：<http://japanfoundation.novartis.org/ja/programs/index03.html>

分野等：生物・生命科学、関連する化学および情報科学の領域における創造的な研究

公募締切日：平成28年9月16日

.....

☆公益財団法人高橋産業経済研究財団：「平成29年度研究助成」

公募概要：<http://takahashi-f.or.jp/entry/index.shtml>

分野等：1. 災害対策分野、2. 環境問題分野、3. 資源分野、4. 医学・医療分野、5. 地域社会対策分野、6. 国際交流・人材育成分野、7. 科学技術開発分野

公募期間：平成28年7月21日～9月16日

.....

☆公益財団法人島津科学技術振興財団：「研究開発助成(平成28年度)」

募集要項：<http://www.shimadzu.co.jp/SSF/h28bosyu.html>

分野等：科学技術、主として科学計測およびその周辺の領域における基礎的な研究

公募期間：平成28年4月1日～9月30日

.....

☆公益財団法人松籟科学技術振興財団：「研究助成事業」

公募概要：<http://www.shorai-foundation.or.jp/subsidy/index.html>

分野等：

1. 植物有用成分およびバイオマス資源の高度利用に関わる研究
2. エレクトロニクス複合材料および次世代実装に関わる研究

3. 持続可能な社会を実現する有機系新素材およびその機能化に関わる研究

公募期間：平成28年7月21日～9月30日

☆公益財団法人日本ワックスマン財団：「平成28年度助成金」

公募要項：[http://www.waxman.or.jp/wk\\_offer/p\\_offering.html](http://www.waxman.or.jp/wk_offer/p_offering.html)

分野等：微生物学および医学に関する学術研究

公募期間：平成28年8月1日～9月30日

☆公益財団法人加藤記念バイオサイエンス振興財団：「第28回（平成28年度）研究助成」

公募概要：[https://www.katokenen.or.jp/applications/3\\_1ken\\_zyo.html](https://www.katokenen.or.jp/applications/3_1ken_zyo.html)

分野等：

1. メディカルサイエンス分野
2. バイオテクノロジー分野

公募期間：平成28年7月1日～9月30日

☆公益社団法人日本アロマ環境協会：「2017年度 AEAJ 研究助成事業」

公募概要：[http://www.aromakankyo.or.jp/aeaj/activity/research\\_grant/](http://www.aromakankyo.or.jp/aeaj/activity/research_grant/)

分野等：現在および将来にわたってアロマ環境（自然の香りある豊かな環境）の保全・創造およびアロマセラピー（アロマ環境により得られる植物の香りや香成分を豊かな生活のために利用すること）の健全な普及・発展に寄与することが明らかと思われる研究

公募期間：平成28年7月1日～9月30日

☆公益財団法人ライフサイエンス振興財団：「研究助成（平成28年度）」

募集要領：<http://www.lifesci-found.com/original5.html>

分野等：ライフサイエンス 等

公募期間：平成28年7月1日～9月30日

☆公益財団法人ヤクルト・バイオサイエンス研究財団：「平成28年度研究助成（一般助成）」

公募概要：<http://yakult-bioscience.or.jp/project.html>

分野等：腸内フローラに関連する萌芽的研究

公募期間：平成28年7月1日～9月30日

☆公益財団法人花王芸術・科学財団：「平成29年度花王科学奨励賞」

公募概要：<http://www.kao-foundation.or.jp/assist/science/research.html>

分野等：

1. 化学・物理学分野

表面分析、表面改質、コロイド、（超）微粒子、クラスター、乳化、分散、吸着、触媒、膜、界面活性剤、ベシクル、リポソーム、液晶、ゲルなどの固体、液体の表面に係わる研究

## 2. 医学・生物学分野

生物個体が外界や自らのもつ内腔（腸管、気管など）に接する部位や、脈管系（血管、リンパ管など）を形成する表皮、上皮、内皮の各細胞およびその付属器官や関連する生理機能を対象とする、個体、臓器、細胞または分子レベルの医学・生物学

公募期間：平成28年7月1日～9月30日

.....  
☆一般財団法人ニッポンハム食の未来財団：「平成29年度研究助成」

募集要項：<https://www.miraizaidan.or.jp/information/2016.html#info20160712>

分野等：

1. 食物アレルギー対応食品に関する研究
2. 食物アレルギーの予防に関する研究
3. 食物アレルギーの診断・治療に関する研究
4. 食物アレルギーに関する工場内等での衛生管理に関する研究
5. 食物アレルギーに関するその他研究

公募期間：平成28年7月15日～9月30日

.....  
☆公益財団法人沖縄協会：「第38回（平成28年）沖縄研究奨励賞」

推薦応募：[http://www.okinawakyoukai.jp/jigyousyousei/h28\\_bosyu.html](http://www.okinawakyoukai.jp/jigyousyousei/h28_bosyu.html)

分野等：沖縄を対象とした将来性豊かな優れた研究

公募期間：平成28年7月15日～9月30日

.....  
☆公益財団法人矢崎科学技術振興記念財団：「2016（H28）年度特定研究助成」

応募要項：<http://www.yazaki-found.jp/applications/applications-3.html>

分野等：

- 領域 a. 生物の機能や構造を情報伝達、自己修復、環境適応、材料創成などの新機能創生に活用して従来にない人工物を実現する研究
- 領域 b. 扱いにくい熱を変換、輸送、貯蔵して有効に活用する技術

公募期間：平成28年8月1日～9月30日

.....  
☆公益財団法人東レ科学振興会：「平成28年度（第57回）東レ科学技術研究助成」

推薦要領：[http://www.toray.co.jp/tsf/info/inf\\_004.html](http://www.toray.co.jp/tsf/info/inf_004.html)

分野等：国内の研究機関において自らのアイデアで萌芽的研究に従事しており、かつ今後の研究の成果が科学技術の進歩、発展に貢献するところが大きいと考えられる若手研究者（原則として推薦時45才以下）。本助成が重要な研究費と位置づけられ、これにより申請研究が格段に進展すると期待されることが要件。

公募締切日：平成28年10月7日

.....  
☆公益財団法人食生活研究会：「平成29年度研究助成」



募集要項：<http://www.z-ssk.org/about/guideline.html>

分野等：

1. 自然科学系：穀物科学、食品加工、食品安全、食品機能、栄養学、その他の生命科学等に関する研究
2. 人文科学系：食料・農業政策、法制度、市場動向・消費動向、消費者とのコミュニケーション等に関する研究

公募締切日：平成28年10月31日

.....

☆うま味研究会：「うま味研究助成第23回募集」

募集要項：<http://www.srut.org/index2.asp>

分野等：下記2つの条件を備えた研究

1. 研究テーマが「うま味」「食」「おいしさ」に関するもの。
2. 研究の視点、方法が独創的なものであり、その成果が「うま味の本質」「おいしさにおけるうま味の役割」という課題に対し新しい科学的知見を加え、食に関する学際的研究の発展に貢献することが期待できるもの。

公募締切日：平成28年10月31日

.....

☆公益財団法人八洲環境技術振興財団：「研究開発・調査助成」

募集要項：[http://www.yashimadenki.co.jp/zaidan/enterprise\\_application.php](http://www.yashimadenki.co.jp/zaidan/enterprise_application.php)

分野等：

1. 再生可能エネルギー源等に関連する技術開発
2. クリーン燃料
3. エネルギーの転換、輸送、貯蔵、利用の高効率化、合理化およびそれらのシステム
4. エネルギー材料、デバイス
5. 環境保全、地球温暖化防止、エネルギー利用上の技術
6. 環境技術マネジメントの基礎研究

公募期間：平成28年8月1日～10月31日

.....

☆公益財団法人園芸振興松島財団：「平成28年度第43回研究助成」

募集要項：<http://www.matsushima-foundation.or.jp/josei/index.html>

分野等：青果物（花きを除く）の生産、流通および消費に関する研究

公募締切日：平成28年10月31日

.....

☆一般財団法人内藤泰春科学技術振興財団：「調査・研究開発助成」

応募要項：<http://www.naito-zaidan.or.jp/boshu/Jyosei/Kenkyu/kenkyuouboyoukou.html>

分野等：独創的な科学技術の研究開発で、地域の産業又は中小規模の企業の発展に寄与しうるもの。

公募期間：平成28年8月1日～11月1日

.....

☆公益財団法人鹿島学術振興財団：「2016年度研究助成」

公募概要：<http://www.kajima-f.or.jp/promotion/paper.html>

分野等：

1. 都市・居住環境の整備
2. 国土・資源の有効利用
3. 文化的遺産・自然環境の保全

公募期間：平成28年7月1日～11月10日

.....

☆公益財団法人昭和聖徳記念財団：「第26回（平成28年度）学術研究助成（奨励）」

公募概要：[http://www.f-showa.or.jp/2\\_jigyo/2\\_biology.html](http://www.f-showa.or.jp/2_jigyo/2_biology.html)

分野等：系統分類に関する研究

公募締切日：平成28年12月10日

## ◆ 5 ◆ 新技術情報

☆農林水産関係分野等の新技術情報の紹介

園芸関係（野菜）：革新的接ぎ木によるナス科野菜の複合土壌病害総合防除技術の開発

本研究成果は、農林水産省の「研究紹介2016」に掲載されたもので、農食研究推進事業の成果です。ナス、トマト、ピーマンの連作により、接ぎ木栽培を行っても青枯病、ナス半身萎凋病、トマト褐色根腐病等が発生し、安定生産上、大きな問題となっています。そこで、異なる抵抗性を持つ台木品種を「台木」及び「中間台木」として組み合わせた多段接ぎ木法、及びトマトで実用化された高接ぎ木法を利用した技術を開発しました。すなわち、多段接ぎ木法では、台木に強度のナス半身萎凋病抵抗性、トマト褐色根腐病抵抗性、および中度の青枯病抵抗性を持つ品種、中間台木に強度の青枯病抵抗性品種を接いだ苗を利用した複合土壌病害防除法を開発しました。多段接ぎ木ナスは、新潟県他3県に、多段接ぎ木トマトは岐阜県他1県に、高接ぎナスは群馬県他3県に、高接ぎピーマンは山口県、岩手県他3県に導入されており、今後、全国的にこれら技術は拡大すると思われます。なお、防除効果、苗の作製法などの革新的接ぎ木マニュアルが作成されています。

農研機構・中央農業研究センター HP：

- ・多段接ぎ木法を用いたナス科果菜類の複合土壌病害の防除  
[http://www.naro.affrc.go.jp/project/results/laboratory/narc/2015/15\\_046.html](http://www.naro.affrc.go.jp/project/results/laboratory/narc/2015/15_046.html)
- ・高接ぎ木ピーマン栽培による青枯病防除  
[http://www.naro.affrc.go.jp/project/results/laboratory/narc/2015/15\\_045.html](http://www.naro.affrc.go.jp/project/results/laboratory/narc/2015/15_045.html)

.....

茶関係：夏茶の付加価値向上のための新たな生茶保管と製茶技術の確立

本研究成果は、農林水産省の「研究紹介2016」に掲載されたもので、農食研究推進

事業の成果です。夏茶は一番茶と同程度の生産量ですが、後者と比べて不快な夏茶臭がするなど品質が劣るとされ、低価格で取引されており、収益性が低くなっています。このため、夏茶の品質を改善して付加価値を高め、収益性を高めることが求められています。そこで、摘採後の生茶を低温下で保管することで、製茶された茶の品質を改善することができることが分かりました。

鹿児島県農業開発総合センター HP :

<http://www.pref.kagoshima.jp/ag11/pop-tech/zenbu/1101.html>

鹿児島県農業開発総合センター茶業部研究成果 :

[http://www.pref.kagoshima.jp/ag11/pop-tech/zenbu/documents/51925\\_20160516151756-1.pdf](http://www.pref.kagoshima.jp/ag11/pop-tech/zenbu/documents/51925_20160516151756-1.pdf)

.....

食品関係：凍結含浸法を利用した常温流通可能な形状保持軟化介護食の製造技術の開発

本研究成果は、農林水産省の「研究紹介2016」に掲載されたもので、農食研究推進事業の成果です。高齢化社会においては、食材の外観を残しつつ、咀嚼困難者が喫食可能な柔らかな介護食がますます必要となってきます。凍結含浸法は、凍結処理と減圧によって食材内部に軟化酵素等を急速導入する技術ですが、この食材は極めて柔らかく、流通中に壊れやすいため、主に冷凍食品として販売されています。本研究によって、常温流通可能で流通中に型崩れしない缶詰食品の試作品を開発しました。また、食材に酵素・油脂等を導入した後に、熱風乾燥することで高品質（柔らかさ・外観・色調）な乾燥素材を製造する技術を開発し、湯戻しして食べる新規乾燥介護食品の試作製造を行いました。

(特許第 5751526 号 乾燥食品素材及びその製造方法 出願人：広島県、三島食品(株))

広島県立総合技術研究所 食品工業技術センター HP :

凍結含浸法ガイドブック：<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/uploaded/attachment/200496.pdf>

凍結含浸法の技術解説：<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/26/ganshin.html>

凍結含浸法を採用・導入している企業・施設：

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/26/tgmaker.html>

.....

## 編集後記

8月6日にリオ・オリンピックの開会式が行われ、水泳、柔道をはじめ様々な種目で競技が始まりました。4年に一度しか巡ってこないオリンピックでのメダル獲得に向けて、長く厳しい練習を積み重ねてきた選手達が、全身全霊を傾けて競技をする姿に、見ている方も夢中になって、ついつい寝不足になってしまいます。TV番組で、古代オリンピックについても放映されていました。ギリシャの都市国家間の絶えざる戦争や疫病の蔓延を憂えたオリンポスの王が紀元前8世紀にギリシャの神を祭る競技会（オリンピック）を4年に一回開催することを提唱し、その間は戦争が中止され、徹底して平等、公正な形で競技が行われたということですが、これは現代のスポーツマンシップや不正禁止に繋がっていると思われまます。古代オリンピックは、1200年間中断されることなくオリンポスで開

催され、後にはギリシャ以外の小アジアの都市等からも参加するなど、知られざる歴史が語られていました。この伝統を引き継ぐ近代オリンピックを通じて、平和の希求、人間の平等、公正なルールの遵守等が思い起こされ、さらなる発展を期待したいと思います。

ところで、最近読んだ本に、酒井崇男著「トヨタの強さの秘密」(2016年発刊、講談社現代新書)があります。著者は、大手家電企業等がなぜ経営不振に陥ってしまったのか、一方、トヨタはなぜ世界的に躍進を続けているのかについても述べています。トヨタの「売れる時に売れる数だけ売れる順番に作る」という生産方式は良く知られていますが、本書では、むしろ、トヨタ流製品開発(TPD)の重要性を強調しています。トヨタ全体の利益のうち、生産現場でのいわゆる「生産方式のカイゼン」で5%、製品開発で95%が生み出されていると述べています。TPDを特色付けるものとしては、主査(チーフエンジニア)制度があり、主査は、車種毎の「製品の社長」であり、担当する製品に関する全ての事項に権限と責任を持ち、市場の求める製品を構想・企画し、各部門の人材を集めて設計情報を創る(=製品開発)使命が与えられています。また、トヨタ流TQMによって、よいプロダクトを生むために3つの情報資産(質の高い設計情報、調査・企画から生産・販売までの全プロセスにおける質の高い管理、管理・改善・改革のできる人材育成)の形成がなされています。そして、世界の企業が必死でまねしようとしているトヨタ方式(TPD+カイゼン)が、実は、地元の日本では部分的にしか理解されておらず、それが、日本企業の衰退を招いている要因ともなっていると述べています。本書を読んで、トヨタの企業経営について知らなかった部分が多く、目を開かされた思いがしました。企業経営に関係している方、あるいは関心のある方には一読する価値があると思われま

=====  
===== 《メールマガジンに関するお問い合わせは》 =====

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 松井・道村

TEL&FAX 052-789-4586

E-mail: bio-tech.co\*go8.enjoy.ne.jp \*を@に書き換えてください

URL <http://www.biotech-tokai.jp/>